

学校評価を通して今後の課題を探る

11月定例PTA実行委員会

令和3年11月12日(金)

アンケート項目の抽出方法・・・上位2項目と下位2項目

①保護者の回答

上位項目・・・○学校は生徒や地域の特性に合わせて特色ある教育活動を行っている

○生徒は好ましい人間関係があり楽しく登校している

下位項目・・・○生徒は配布物等はきちんと保護者に渡している

○学校が力を入れて取り組んでいる内容を知っている

②教職員の回答

- 上位項目・・・○学校だよりや各種通信、ホームページ等で学校の様子がよくわかる
- 学校は生徒や地域の特性に合わせて特色ある教育活動を行っている
- 下位項目・・・○教師は地域やPTA行事等に参加している
- 家庭で携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールを作っている

②生徒の回答

上位項目・・・○教師は授業内容について質問に親切に答えている
○学校は生徒や地域の特性に合わせて特色ある教育活動を行っている

下位項目・・・○生徒は挨拶や正しい言葉遣いがきちんとできている
○家庭で携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールを作っている

④三者の平均点

- 上位項目・・・
- 学校は生徒や地域の特性に合わせて特色ある教育活動を行っている
 - 学校だよりや各種通信、ホームページ等で学校の様子がよくわかる
 - 教師は授業内容について質問に親切に答えている
- 下位項目・・・
- 家庭で携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールを作っている
 - 生徒は配布物等はきちんと保護者に渡している

今後の重点的取組は何をすべきか

1. 「三川内らしさ」を生かした取組

☆陶器の里として、地域の中での学校の在り方を追求する

☆生徒が主体的に学びに向かうことができる教育活動を展開する

☆「三川内らしさ」を情報発信し、地域と一体的になる

☆生徒が良好な人間関係の中で、意欲をもって活動する環境づくりを進める

今後の重点的取組は何をすべきか

2. 保護者、教職員双方が参加しやすいPTA活動づくり
 - ☆ウィズコロナ社会において、以前のように子供を中心においた活動を仕組む
 - ☆PTAのやりがいや楽しさを発信するPTA活動 = 意識改革
 - ☆家庭 = 地域 = 学校の連携を強固なものにしていく取組

今後の重点的取組は何をすべきか

3. 家庭で必ず取り組んでいただきたいこと

☆スマホ等の端末機器の使い方のルールづくり

①使用時間 長崎ルール21時まで

②端末機器は自室に持ち込ませない

③本当に必要か徹底的に親子で議論する

④スマホは脳みそを委縮させ発達を阻害するという認識を持つ

☆子供の行動結果は保護者の責任

「保護者」「親権者」の意味を再度自覚してほしい